日野稲門会報 33 号　　2023 年 7 月 25 日発行

日野稲門会報

日野稲門会事務局
日野本町 5-13-2
宮本方　080-3205-0583
編集責任者 五十嵐耕一

４年ぶりに総会をフルスペックで開催！！

日野稲門会会長　京極英二（昭 46 政経）

今年６月１１日（日）、４年振りにホテルエミシア東京立川にてフルスペックで総会を開催することが出来ました。早稲田大学及び近隣稲門会の来賓と日野市在住の大学新１年生をお迎えして、日野稲門会の会員、新会員及びオブザーバー参加の校友の１２名を含め約５０名の方々にご出席頂きました。シンプルな内容ながら、久しぶりに「早稲田の雰囲気」を楽しんでいただいたと思います。
総会では恒例の議案審議、第二部では当会「源氏物語を読む会」の講師久保先生の「古典文学を親しむ」で講演会、第三部では着席で会食・歓談しながらビンゴゲーム、最後は校歌斉唱で締めることが出来ました。

昨年度は休会中の囲碁を除く１２の同好会全てが再開出来ました。テニスは当初から活動継続、ハイキング同好会に続き、「源氏物語を読む会」、健康麻雀、男の料理、バードウォッチング、史跡巡り、ゴルフ、カラオケ、早慶戦、荒ぶる会、スキーと順次再開いたしました。コロナはまだ完全に終息しておりませんが、引き続き注意しつつご参加頂ければと考えております。

（総会報告を日野稲門会ホームページに掲載しています）

京極会長挨拶

久保先生の講演

テーブルを囲んで楽しい歓談のひととき

久しぶりのエール、皆さんで高らかに校歌を合唱！

稲門祭 NEWS

「稲門祭」は、ホームカミングデーと同日に行われる校友が母校で楽しむことができる祭典です
今年は模擬店も出店、対面で開催の方向で準備中です

（日時）１０月２２日（日）１０時～
（場所）早大早稲田キャンパス　他

日野稲門会では、今年も稲門祭記念品を事前販売しています。この収益の全額が、校友会奨学金になります。皆様の温かいご支援をお願いいたします。
（問い合せ先）青木☎090-5794-0847

contents

・会長から ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
・同好会だより ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
・新会員紹介 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
・今年度後半の行事予定 ・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
・会員からの投稿 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
・会員の動き ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8

今年度後半の行事予定

9 月 3 日（日）三多摩支部大会
10 月 21 日(土) 秋の収穫祭（予備日は翌日）
10 月 22 日(日) 稲門祭・ホームカミングデー
12 月 5～8 日　美術作品展
1 月中旬　かわら版（第 6 号）発行
2 月 11 日(日)　新春懇談会・上映会

※１．行事は、中止または日程を変更する場合がありますので、ご注意ください。
※２．各同好会の活動は「同好会だより」欄および日野稲門会のホームページをご覧ください
https://new.hinotomonkai.org/

第２５回 秋の収穫祭（芋掘り）

日野稲門会では唯一家族ぐるみのイベントとして開催しております。例年通りさつま芋、里芋、八ツ頭の収穫を見込んでおりますので、家族そろって大勢の皆さまのご参加をお待ちしています。

＝　＝　＝　＝　＝　＝　＝　＝　＝

日　時　１０月２１日（土）予備日は翌日
場　所　日野市役所近くの畑ですが、
例年とは場所が変わります。
参加費　**３００円（1 家庭）**
問い合わせ先　杉本 武彦
042-583－6101

※申込方法や地図など詳細は、あらためてご案内いたします。

さつま芋ほり

第 3 回　美術作品展

出展者大募集！

4 年前の夏に当会創立 40 周年記念事業として開催した美術作品展も今回で 3 回目となります。多数の方々に出展いただき、賑やかで、楽しい作品展にしたいと思います。皆様からの出展申し込みをお待ちしています。

◇　◇　◇

１．開催時期　**2023 年 12 月 5 日(火)～8 日(金)**
10:00～17:00
（初日 13:00 から、最終日 16:00 まで）
２．開催場所　**ひの煉瓦ホール**（日野市民会館）
２階　展示室
３．応募資格　当会会員及びその家族、
日野市在住の校友
４．出品料　**1 人 2,000 円**
５．作品部門　絵画、書道、陶芸、彫刻、写真、工芸（金工、染織、皮革、漆、人形、布、ガラス、紙、木材等）を 1 人 5 点まで
６．応募締切　２０２３年９月末日
７．申込・問合せ先　宮本誠二
（美術作品展統括責任者）
Ｅメール：seiji-74.511@ivory.plala.or.jp
携帯：080-3205-0583

八頭の掘り起こし

重さ一番のさつま芋

花のまちづくり（日野市主催）

「コスモスアベニュー」広い２区画

浅川スポーツ公園外周（万願寺５丁目３番地）のコスモス通りにコスモスの種をまき、種まき後も間引き・草取り作業等を行い、花が咲くまで大切に育てる事業に今年も参加します。

６月２５日(日)に「花さかじじい」７名が参加して、２区画を耕し種まきしました。秋には赤・ピンク・白の花が咲きます。日野稲門会のプレートがありますのでちょっと覗いてみてください。

7 月 29 日(土)、8 月 26 日(土)、9 月 30 日(土)に草取り・間引き等の管理を行い、9 月中旬以降の開花を待ちます。

同好会だより

日野稲門会には１２の同好会があり、幾つでも参加可能です！興味ある方はお気軽に幹事までお問合せください。

なお、各同好会の詳しい内容や活動予定は、日野稲門会ホームページの「同好会一覧」にも掲載していますので、参照ください。

https://new.hinotomonkai.org/club/

史跡巡りの会	
幹事：上田　實	080-9340-8388
umjthey@jcom.zaq.ne.jp	

日野近郊の史跡を巡りながら、歴史と文化と散策を楽しむ同好会。次回の予定は「西国分寺の史跡めぐり」と題して、座学および、古代の道、お鷹の道湧水園、真姿の池湧水群などをめぐります。乞うご期待

ハイキング同好会	
幹事：南　正隆	090-8109-3871
minami.masataka@akane.waseda.jp	

ハイキング同好会は、自然に親しみ、景色を楽しみ、会員相互の親睦を深める会です。

昨年はCOVID-19による休止から活動を再開し、今年は懇親会や近隣稲門会との交流も復活。年４回の例会は誰でも気軽に参加できる比較的楽なコースが中心です。皆さん一緒に歩きましょう。

荒ぶる会（ラグビー）

幹事：杉本　武彦	042-583-6101
sugimototandc@mist.ocn.ne.jp	

コロナの為活動を中断していましたが、昨年から早帝、早慶、早明の三戦の応援を再開しました。まだコロナが拡大最中だった為、恒例となりました「元全日本ラガーを囲む会」早明戦後に開催の「勝っても負けても祝勝会」は中止としました。今年こそフルバージョンでの開催を予定しています。新会員の皆さまはじめ多数の多数のご参加をお待ちしてます。

健康麻雀同好会

幹事：上田　實	080-9340-8388
umjthey@jcom.zaq.ne.jp	

その名の通り、飲まない、賭けない、吸わない健康麻雀を毎月 1 回開催。毎回 8 名程度でにぎやかに４半荘実施。年間で優勝や役満賞など表彰式を実施しています。年々衰える脳、神経、手先の機能維持に最適です。

新会員大歓迎募集中！

男の料理同好会

幹事：松島　修	080-7833-5901
o.matsus28@gmail.com	

当会はコロナ禍でしばらく中断していましたが、昨年 7 月から再開し、2～3 か月毎に第二金曜日の 10～12 時に調理実習、12～13 時に全員で会食の形で開催しております。次回は 9 月 8 日(金)です。実習は 3～4 人の 3 班に分かれて行ない、メニューは旬の野菜中心の家庭料理(和、洋、中を問わず)3 品程度を作っています。今まで作った料理は日野稲門会のホームページに掲載されていますので、料理に興味と関心のある方はご連絡下さい。

ゴルフ同好会

幹事：京極　英二	090-2417-5618
kr64uy@bma.biglobe.ne.jp	

今年、前幹事の吉川さんから上田、京極が幹事を引き受けました。数ある同好会の中でも伝統あるゴルフ会です。昨年１０月再開、今年５月には２０代の若手を含め１５名が参加しました。久しぶりの方、初心者の方、女性の方大歓迎です。気軽にご参加頂きたく、ご入会をお待ちしております

スキー同好会

幹事：高橋　敏夫	042-591-6811
ts-taka@jcom.zaq.ne.jp	

毎年 1 月に、信州奥志賀高原で 2 泊 3 日のスキー旅行を実施しています。温暖化で積雪の少ないのが懸念されるこの頃ですが、ここ奥志賀高原は積雪量たっぷりで一切心配いりいません。昔、スキーを経験された方、一緒に滑りませんか。泊まりのイベントですので夜の 2 次会も大盛り上がりです。ご参加をお待ちしてます。

テニス同好会

幹事：青木　雅介　090-5794-0847
aokimayo@hotmail.com

テニス同好会は週 2 回楽しく PLAY しています。コロナ禍で控えていた他グループとの親睦戦も再開、杉並稲門会の方々や日野市の他グループの皆さんとの交流も図っています。
新年度に当り多摩平テニスコート横のホットプレイス「うちたす」で懇親会も行いました。引続き活動を続けていきますので皆さんのご参加をお待ちしています。

源氏物語を読む会

幹事：玉木　雅治　090-4840-3261
tamaki423@gmail.com

来年の NHK 大河ドラマ「光る君へ」は女優・吉高由里子が演じる紫式部です。 講師・久保貴子さんは柔らかな解説をする本格派。古典の最高峰「源氏物語」を趣味にするチャンスは、今かも。

早慶戦を応援する会（野球）

幹事：　生川　博　090-5302-2775
hiroikawaikiiki@outlook.jp

神宮球場に足を運んだ方なら、打球の快音と行方、美技への拍手喝采、逆転で総立ち・大歓声にグラウンドと応援席の一体感を覚え、気分を高揚させたことでしょう。今一度、味わってみませんか。春と秋の早慶１回戦、神宮の森でお会いしましょう。そして、凱歌と美酒を共に！

カラオケ同好会

幹事：小笠原　豊　080-5532-0781
ogasawaray@jcom.zaq.ne.jp

新生カラオケ同好会が発足して１年が経過しました。たかがカラオケされどカラオケ。
ユーチューブなどで練習してきた成果を小学校の学芸会の気持ちで当日歌唱すると、サビついていた心が心身のオアシスとなります。
現在会員は 8 名（女性 2 名）で、7 曲から 10 曲を皆さん色々なジャンルでご披露します。最後に全員合唱で各人マイクを持ち「早稲田の栄光」を高らかに歌います。この時、校友のつながりや、仲間意識は簡単に断たれない気がしてきます。

バードウオッチング会

幹事：玉木　雅治　090-4840-3261
tamaki423@gmail.com

輝く青色のカワセミは”川の宝石”、不意に現れるオオタカには小鳥が悲鳴をあげます。日野はそんな豊かな自然があちこちにあるんです。地元で「野鳥が趣味」なんて、ちょっとクールでしょ。

会員から

熱き「神宮の杜」に魅せられて

光藤 義郎（昭 53 工研修）

初めまして。日野稲門会の会報に初めて寄稿する光藤と申します。
光藤を“ミツフジ”と読むのは意外と難しく、漢字だけを見て“ミツトウ”とか“コウドウ”とか読む人が結構多いようです。そのため、私が初対面の人達に自己紹介する時は、よく「光源氏の“光る”に藤壺の“ふじ”と書いてミツフジと読む。恰も源氏に縁があるようだが元々は平家の血筋、我が家に代々伝わる家系図によれば、私は初代から数えて十八代半、元々は四国今治、麹屋の生まれ、由来は平家の落人が瀬戸内の海賊となって財を成し、時の城主、藤堂高虎の御用商人となって名字帯刀を許され、藤堂の藤の名を頂き、麹のコウに光という字を当てることで光藤と号した。」といった言い方をしています。勿論、ウソかホントか定かではありませんが、単なる自己紹介をするよりは記憶に残るということで、早稲田の新人コンパや研究室紹介などではよく使ってきました。

簡単な経歴としては、戦後復興期の昭和 27 年霜月 16 日の未明、東京世田谷太子堂の国立病院にて産声を発し、太子堂の区立小中校を経て都立戸山高校に学び、そのまま真向かいにある早稲田理工学部工業経営学科に入学、学部 4 年を無事過ごした後、大学院へと進み、当時就職難で苦労しつつも某企業に入社、60 歳定年で円満退職後、某大学の特任教授を経て、現在、日本科学技術連盟という財団法人に籍を置き、ＴＱＭ（総合的品質経営）というヤクザな分野で産業界への支援/指導/教育を通じ、世界の平和と発展に貢献する活動に携わっています。

早稲田時代の自慢は何と言っても、大学院まで含めた 6 年間、1 年生の春を除いて全ての早慶戦を学生席で全出席（私の時代は徹夜で並ばないと学生席に入れなかった）したということです。その中には、土日で勝負が付かず、月曜決戦になった時も授業を休んで神宮に駆けつけたという記録も含んでおり、今まで会った早稲田マンの中で、この記録を超えた人はまだ一人もお目に掛かっておりません。もし日野稲門会会員の方で、この記録を超える、即ち 6 年間全ての早慶戦に全出席した人がもし居られましたら是非ご連絡頂ければと存じます。

これだけ通い続けていると、早稲田の数ある応援歌も自然と耳から学ぶようになり、定番の校歌や紺碧の空だけでなく、涙ナシでは歌えない「早稲田の栄光」や「仰げよ荘厳」、口笛爽やか「光る青雲」、「燃ゆる太陽」、慶応連中と肩組んで歌う「早慶賛歌」、勝利した時歌う「早稲田の凱歌」等々、今でも二番以降まで口ずさむことができます。

そんな中、早慶戦最大かつ最強の歌曲は、何と言っても早稲田大学第二校歌「人生劇場」、中でもその口上が魅力的でした。今でも酒が入り、心が学生気分に戻るとき、「昨日も聴いた今日も見た、早稲田の杜に青成瓢吉が出るという、尾崎士郎原作人生劇場より。嗚呼、歓楽は女の命にして虚栄は女の真情であります。…」と、いつもの口上を語り、そして 4 番の歌詞、「端役者の俺ではあるが、早稲田に学んで波風受けて…、」を朗々と吟ずるうち、早稲田という文化に触れることのできたこの身のシアワセを深く噛みしめる至福の時がゆったりと流れていきます。

もういい年なのに未だ野暮用の尽きない今日この頃ですが、今後は日野稲門会の諸行事には何とか馳せ参じたいと思っておりますので、その際は何卒宜しくお願い致します。

新会員の紹介

今年は大々的に会員募集キャンペーンを展開した甲斐あって、新たに10名が入会されました。
（P. 8「会員の動き」参照）

今回は入会時期の早い方 5 名の紹介文を掲載します。他の皆さんは「かわら版」（1 月発行）にて紹介させていただきます。

☆高戸　章（昭 48・理工）

私は昭和 22 年に愛媛県新居浜市に生まれ、12 月で 76 歳となります。

その後、父の転勤の関係で、大阪、宝塚市、東京等を転々としましたが、特に自然の豊かな宝塚市では、後に一番の趣味となる絵画への感性が磨かれたと思っています。

東京では当時学力レベル日本一と言われていた千代田区の麹町中学校へ越境入学し、日比谷高校に進学しました。しかし、日比谷高校時代の不勉強が響いて東大受験に失敗し、早慶に合格、絵が好きだった私は入学試験にデッサンのあった早大建築に入学しました。

その後、大成建設専務の方とのご縁で大成建設に入社しました。

入社後は、一貫して建築現場配属で、東京→大阪→東京→国際の各支店に勤務し、帰国後は本社、東京支店で、環境関係の業務に就いた後、11 年前に退職致しました。今は以前より時間があるので、本格的に趣味に没頭している毎日です。

私の趣味は大きく分けて 4 つあります。まず第一は絵画で、東京都美術館やパリの日本人画家展等で大賞、金賞、最優秀賞等、多数の受賞をしています。

なお、突然で驚かれるでしょうが、私の母方の祖母の先祖が葛飾北斎の親戚で、私も北斎の血をわずかでも受け継いでいる筈なので、その才能の一千、いや一万分の一でも発揮出来ればなあ、と思っています。

第二はゴルフで、最盛期はハンディ 10 程で、ベストスコアは 74 です。現在はスコアは 90 前後ですが、80 歳までにエージシュートを狙っています。

第三は音楽鑑賞とカラオケです。レパートリーは約 300 曲です。兄二人が合唱をやっていた影響でしょう。

最後は語学です。海外勤務が 11 年あったことも影響し、英語とインドネシア語はいまでもペラペラです。今後は英検 1 級（現在は準 1 級）の来年中の合格を目指し勉強を続けていきます。

以上、色々と私の趣味について述べてきましたが、これからもこれらの趣味を大切にして、いつまでも感性豊かなうるおいのある生き方をしていきたいと思っています。

☆山口進一（昭 49・文学）

私はイヤイヤながらも万願寺自治会の役員２期目です。そんな中、去年の「コスモスアベニュー」の帰りがけに、「日野稲門会」の区画表示がつい目に入り、立ち止まって眺めてしまいました。ワセダ、都の西北、紺碧の空、、、遠い昔の髪がフッサフサの自分がグルグルと頭をめぐります。思わずコスモスの手入れをされていた方々と話しをしてしまいました。地元日野市でワセダと談笑、心地よいものでした。その時にお誘いいただき、入会させていただくこととなりました。

みなさま、よろしくお願いいたします

☆岩本直子（昭 51・文学）

初めまして。第一文学部英米文学科卒業の岩本と申します。68 年間に及ぶ、文京区での生活に終止符を打ちまして、日野市にご縁をいただき、2 年前に越して参りました。日野市は自然が豊かで、昔ながらの人情も残っていまして、都会と地方の良さが混在した、素敵なところです。未熟ではございますが、今後ともよろしくお願い申し上げます。

☆虎岩直子（昭 55・文学）

1976 年第一文学部入学、80 年に英文学科を卒業の虎岩直子です。いわゆる文学少女、そして洋画映画、とりわけデイヴィット・リーンの作品をよく見ていたわたしは、都立高校の３年生になって進路を決めるとき、優れた研究者がいるからと高校の英語の先生に勧められて、早稲田大学に進学。それ以来、基本的に同じような仕事をして何十年も暮らしてきました。

４年間だけ過ごした早稲田の学生だった頃は特にこの大学が好き、と思ったことはなく、あまり他の学生とも付き合わずにいましたが、年を取ってからなんだかとても懐かしく、同期の仲間と時々集ったりもしています。皆素晴らしい仲間たちだったのだと遅まきながら気づきました。早稲田は、それぞれ自分で好きなことに熱中して育っていく、そのような場所だったと思います。

山歩き、植物鑑賞、時間があればやってみたいことはいっぱい。どうぞよろしくお願いします。

☆服部 信男（平 02・社学）

私は 1990 年に社会科学部を卒業し、テレビ番組制作会社に入社しました。2007 年には BS フジにて放送された「早稲田大学創立 125 周年記念番組」をプロデューサーとして制作し、翌年には稲門祭の催事企画・運営を担当させて頂きました。卒業以来、全く早稲田界隈へ行く機会すらなかった私としては、学生時代の懐かしさを感じるとともに貴重な体験をすることができました。

60 歳の定年まであと３年を切りましたが、人生１００年時代です。進取の精神を持ち続け、後半の人生を生き生きと過ごすためにも、母校の諸先輩方と交流させて頂くことを楽しみにしております。どうぞよろしくお願い致します。

新会員募集

皆さんのお知り合いの校友でまだ当会に入会されていない方に参加を呼び掛けて、イベントや同好会にお誘いください。入会希望の方には事務局または各同好会の幹事までご連絡するようお伝えください。

【会費】3000 円　【入会金】無料

会員の動き

【新会員】

岩本	直子	昭 52	文学・英文
金子	義孝	昭 46	理工・電通
高戸	章	昭 48	理工・建築
虎岩	直子	昭 55	文学・英文
服部	信男	平 02	社学・社学
古澤	寿美枝	昭 51	文学・心理
山口	進一	昭 49	文学・美術史
山田	久敏	昭 48	政経・経済
山﨑	康夫	昭 54	理工・機械
由良	茂男	昭 52	理工・機械

【退会会員】

小林 敏孝、　神田 進、　久保田 友治、
鷹尾 清文、　海老根 邦夫、　金子 順治

校友会費の納入のお願い

校友会費は、大学事業への支援、奨学金など学生への支援、稲門会活動の支援に充てられています。日野稲門会も校友会から多額の補助を受けております。
校友会費のご納入にご理解をお願いします。

編集後記

・イベント開催や同好会活動が活気を取り戻し、10 名の新しい会員を迎えて嬉しい話題が豊富です。掲載記事も盛りだくさんの紙面は会報史上最多の８ページになりました。
・新会員 10 人中の残り 5 名の皆さんの自己紹介は「かわら版」（1 月発行）に掲載します。
・手作り編集によるカラー版の「かわら版」「会報」がお目見えしてから 3 年、今回で 7 回目の発行です。私事ですが今年から「パソコン教室」のアシスタントを始めて Word ソフトのスキルも上がり、編集作業も手慣れてきました。皆様の投稿をお待ちしております。

編集長　：五十嵐 耕一（会報担当）
編集委員：京極 英二、宮本 誠二、上田 實、
杉本 武彦、松島 修、庄山 幸司

★日野稲門会のホームページ
https://new.hinotomonkai.org/
★日野稲門会広報担当のメールアドレス
hinotomonkai.kouhou@gmail.com